

○議長（堀内春美さん）

それでは、通告1番 7番 望月眞君の一般質問を行います。
7番 望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

それでは、通告に則り、一般質問を行います。まず、富士川中学校開校に向けての教育環境整備についての質問です。以前にも、同様の質問をしてきた経過もありますが、新中学校開校が目前になったことから、再度、踏み込んだ質問を行います。学校の教育環境には、校舎、教室、IT環境、教材機器などの物的環境、教職員や学校業務員、生徒間のコミュニケーション、保護者をはじめ地域住民や町民の理解と協力、教育委員会や学校評議員等の支援体制など人的環境、そして学校教育目標や教育課程、学習指導計画や、校則および通学方法などの条件的環境があります。新たな中学を開校に向けて、生徒の学びと活動の保障を念頭に、物的環境、人的環境、条件的環境をしっかりと整備することが大切です。その点を踏まえて、具体的に質問を行います。はじめに（1）の質問です。富士川中学校は、令和7年4月に現増穂中学校校舎を仮校舎として開校予定ですが、増穂中学校校舎の整備や改修工事の必要性について伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまの質問にお答えいたします。現在の増穂中学校を富士川中学校の校舎として使用するにあたり、改修の必要があると考えております。こうしたことから、現在、増穂中学校および鵜沢中学校の教職員に対して、ヒアリングを実施し、校舎の使用期間も考慮しながら、出していただいた意見をもとに、改修内容を検討しているところであります。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

改修内容を検討しているところだという回答を得ましたが、ちょっと踏み込んで再質問をさせていただきます。令和7年開校時の生徒数の予定は、1年生72人、2年生106人、3年生111人、合計289人です。現状においては、1年生は3学級、2年生、3年生は4学級の教室が必要になります。また、特別支援学級には11名が在籍しており、特別支援教室も必要です。普通教室の配置は、現状のままで可能かどうか、その点について伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまの質問にお答えいたします。現在、教室については、普通学級10室、特別支援学級4室、学習室3室の17室が設置されております。これらの教室は、すべて同一の形状でありますので、現状の配置で使用が可能かと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

現状の状況で、普通教室はやっていけるとそういうお答えでした。再質問です。現増穂中学校現校舎は、1971年に建築されています。築50年が経過していることから、長寿命化計画では、大規模改修の時期にあたっていました。劣化が進んでおり、壁が剥離している箇所もあります。また、ベランダの手すりも劣化状況も激しく、ベランダへの出入りはできなくなっている状態であります。生徒の安全確保のためには、開校に向けての修繕が必要だと思われませんが、改修工事等の計画について伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。改修につきましては、生徒の安全確保を第1に考え、校舎の使用期間も考慮しながら、教職員から出していただいた意見をもとに、現在、内容を検討しております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

内容を検討しているということですが、状況がありますのでこの状況をしっかり見て、必要ところはしっかり修理をする必要があると思います。再質問になります。普通教室の空調設備は、既に整備されていますが、特別教室や体育館、ふれあい広域体育館、これは卓球部、剣道部や体育の授業で使われています。また、集会活動でも使われている施設であります。ここの施設には、空調施設がありません。特に、体育館。体育館については、鯉沢中学校と一緒になれば、バドミントン部がたくさん多くなると思います。バドミントンというのは、ご承知のように風を避けるため、密閉した空間で練習、試合が行われますが、そういったときにですね、新校舎になっても、これは活用されていく施設ですが、活動中の熱中対策と生徒の安全性確保も考慮すると、開校時に併せて空調設備を整備できないか、その点について伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。繰り返しの答弁となりますが、特別教室や体育館の空調設備につきましても、教職員からいただいた意見をもとに、改修内容を検討しております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

過日、増穂中学校に行って、ちょっと状況をお聞きしながら話をしてきたんですが、ぜひその空調設備については何とかしてほしいという要望があったということをお伝えして、再

質問をお願いします。新校舎への移転は、新校舎建築後、令和9年夏休みに行くことになっていますが、開校時の3年生と2年生は、新校舎で生活することなく卒業することになります。この生徒たちが、新中学校で意欲や希望を持って学習ができる環境整備も必要だと思いますが、その点についての計画や、配慮がありましたら伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまの質問にお答えいたします。富士川中学校の1期生として、意欲や希望を持って生活できますよう、物的環境だけではなく、人的環境や条件的環境も含めた中で、総合的に検討して参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

ぜひですね、具体的に検討を進めてほしいというふうに思います。もう間近に迫ってきていますので、もうそろそろ検討からね、実施の段階に入ってくると思いますので、その点も考えながら、ぜひやっていただきたいと思います。（2）の質問になります。新校舎の建築については、校舎北側に建築するというので、すでに建築予定地の実質調査は終わっています。新校舎の規模や構造様式等については、まだ明確に提示されていません。教育委員会の新校舎建設の基本構想について、改めて伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。現在、教育委員会としての新校舎の基本的な考えは、延床面積5000平方メートル程度、主要構造、鉄筋コンクリート造を基本とし、木造等の混構造も可とするとしておりますが、これまで対話集会等で寄せられたご意見や、児童生徒、保護者および教職員等の幅広い意見を参考にしながら、基本設計を進めているところであります。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

再質問を行います。やはりですね、新たな中学、これ大きな大工事になると思います。大切な工事になると思います。やはり、教育委員会あるいは町がですね、ある程度しっかりした基本構想を提示することは私は必要だと思います。再質問を行います。新中学校建設工事設計業務委託仕様書を見ますと、先ほど課長が答弁がなされたように、延床面積5000平方メートル、鉄筋コンクリート造を基本に、混構造も可とすると記載されています。新校舎の構造様式について、何階建て、何階か建てのですね、上に伸ばす1棟校舎にするのか、複数棟の校舎にするのか、どちらかの選択があると思います。私は、場所の条件的な部分を考えたり、あるいは安全面や建築コストを考慮すると、複数棟の校舎を、上に伸ばすのではな

くてですね、複数棟の校舎を建築することが良いと思いますが、現時点でその点については、どうですか。その点もまだ検討していて、ある程度のものが出ていないということですが、私は出すべきだと思うんですが、いかがでしょうか伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。校舎の安全面については、法令に則した建築とすることで、1棟でも安全に配慮された計画が可能です。また、複数棟とした場合、共有部分の面積が増加すること、外壁の面積が増えることなどで、一般的にコストの増加が考えられます。こうしたことから、新校舎については1棟で検討を進めております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

1棟建ての何階か建て、4階建てぐらいになりますかね、そうするとね。教室数等を考えると。するという方向で、今いるということですが、ぜひ、安全面のことも考慮しながら進めていただきたいと思います。再質問です。生徒数の推移や、少人数学級の進捗状況や、きめ細やかな学習環境を考慮すると、普通教室はゆとりを持って設置する必要があると思いますが、普通教室は何教室設置する計画なのか、今わかっている時点で伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまの質問にお答えいたします。教室数については、今後の生徒数の推移を考慮し、普通教室に転用可能な少人数学習室を含めて、12室を計画しております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

これもですね、12室ということは1学年4学級というふうなことだと思います。それに今度は、特別支援教室も多分考えなきゃならないと思います。その辺も含めて、ぜひしていただきたいと思います。この少人数学級の進行状況によってもですね、やっぱり若干変わってくる可能性もありますので、新たに建て増しをするということではなく、その辺も考慮しながらですね、ぜひ普通教室の設置をお願いしたいと思います。再質問です。生徒たちの生活環境に配慮すると、一部の部分、木質化を図ることも良いと思います。私も教員時代、富士豊茂小学校の新校舎建築に、建築委員として参加しましたが、やっぱり子どもたちに木のふれあい、あるいは掃除をするときに雑巾がけをすることで、体を心身を鍛えるということも含めてですね、教室と廊下の床はすべて木質にしてもらったことがあるんですが、教室等の木質化についての考えは、あるかないか伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。木質化については、新校舎においても採用を検討しております。校舎内部の教室の配置や、広さの検討が終了しましたら、木材利用箇所の検討を行う予定でございます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

ぜひ、配慮をしていただきたいと思います。再質問ですが、新校舎建築のように、省エネや自然エネルギーを活用する、環境にやさしい校舎建築の構想があるかどうかを伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。新校舎においては、省エネルギー性能指標を0.5以下と設定しております。役場と同様、環境やエネルギー消費に配慮した校舎となるよう努めて参ります。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

SDGsも踏まえながらですね、やはり環境にやさしい校舎建築にぜひ配慮していただきたいと思います。もう1つ再質問になりますが、学校環境において、正門の配置場所は大変重要になります。現在、増穂中学校の正門は南側にありますが、ちょっと入口が狭いということで、大型のバス等が入りにくいような状況もあるわけなんです。新校舎、新中学校開校に併せて、正門をどこに配置するのか、その辺について計画があったら伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。今後、基本設計の中で、外構についても検討して参りますので、校舎だけでなく、敷地全体を設計する中で、正門の位置を検討して参ります。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

私はですね、後でまた違う質問でもちょっと触れますが、やはり正門の位置ってのは、ある程度の幅が必要であろうというふうに思っていて、県道葦崎鰐沢線から直に入れるような形で、正門を設けたらいいのかなというふうに思っていますが、その辺もぜひ配慮していただきたいと思います。それでは（3）の質問に入ります。すでに設計業者も選定され、基

本設計業務が進んでいます。設計に対して、アドバイザーも本町では取り入れていますが、新校舎建設の現在の進捗状況について伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。建設工事の設計業務につきましては、契約締結以降、教職員の意見をお聞きしながら、校舎の位置・形状・構造、さらに、校舎内部の教室等の配置の検討を進めているところであります。今後は、間取りの詳細、設備機器の位置や仕様、木材利用箇所の検討などを行う予定であります。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

今検討、まさにしているところだと思うんですけど、いままで再質問でしてきたことも、ぜひ考慮していただきたいなというふうに思います。それからですね、学校現場の声を反映する、これがとても大切だと思います。教職員や生徒たちの声をどのように吸い上げ、反映させていくのか、その点について伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。児童生徒からは、アンケートにより、新校舎についての希望をとるとともに、教職員からは直接ヒアリングを行い、基本設計に反映できるよう、意見聴取に努めております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

わかりました。（4）になります。現増穂中学校には、金工木工室の技術室棟、倉庫を備えた特別教室棟、プールとプール管理棟、クラブハウス、弓道場、テニスコート、給食配膳室、旧給食調理室ですね、がありますが、新校舎建設に際して、校舎以外の施設の整備についての計画について伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。増穂中学校の施設につきましては、校舎以外は活用していく方向で検討しておりますが、教育課程、授業時数、生徒および教職員の利便性等を踏まえ、最終的に判断していきたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

具体的にちょっと再質問を行いたいと思います。2点だけお願いしたいと思うんですが、特別教室棟については、まだ改築してそんな時間が経っていません。まだまだ使える施設です。新校舎建築費の建設経費を削減を図るためにも、私は継続活用することが良いと思いますがいかがでしょうか。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。技術室は、新校舎内に配置することを予定しておりますが、特別教室棟については、今後活用が可能か検討して参ります。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

再質問をお願いします。プールとプール管理棟については、老朽化に伴う劣化状況が激しく、抜本的な、もう底もだめになっている状況があると思うんですね。抜本的な改修工事、ないしは新たな施設設備が必要です。施設建設が必要です。多額の経費が予想されることから、当面は町民プールを利用することが望ましいと思います。また、プールについてですね、各自治体がもう方向性が、新たな方向性を出している自治体も多いわけなんですね。それはですね、プールは維持管理が大変だということと、それから維持管理をするための教職員の手間も大変なんですね。そういった意味でですね、維持管理の削減や管理費の削減や教職員の多忙化の解消を目的に、富士吉田市のように民間施設を活用している自治体も増えています。新中学におけるプール施設に対する考えを伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。プール施設の活用については、教職員の意見や教育課程、ただいま議員のおっしゃったような民間施設の活用など、多角的に検討を行いつつ、判断したいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

先ほどの正門との関係もあるんですが、私はあそこのプール施設を更地にして、県道から直に入れるような形にしていくことが、望ましいのではないかとこのように思っていますので、ぜひ参考にしてください。（5）の質問になります。身延中学校新校舎建築は、令和6年4月の開校を目指して追い込み段階です。体育館、テニスコートも含めて、トータルでの当初の建設経費は35億円を見込んでいました。しかし、建築資材の高騰等により、現在は、41億を超えるというふうに見込んでいるとのこと。富士川中学校新校舎建設の建設費、経費の見込みとその財源確保について伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまの質問にお答えいたします。新校舎建設に係る経費につきましては、プロポーザル時に、想定工事費を20億円としておりました。しかしながら、現在、基本設計中であること、物価や労務単価が上昇し続けていることから、建設経費については、現時点において明確なお答えができません。また、財源につきましては、主に合併推進債を検討しております。さらに、町の方針として、森林環境譲与税を活用した、校舎の木質化も検討しており、今後、富士川町森林環境譲与税活用検討委員会に諮り、用途を決定していく予定であります。なお、今後も、国の交付金などを活用できるものがあるか、県にも相談しながら研究を進めて参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

再質問を行いたいと思います。課長の答弁の中に、新校舎の建築想定工事費は20億、これは建築資料にもそう書かれていますが、新校舎建築のほかにもですね、現増穂中学校の解体費、運動場整備費、外構整備費などに多くの経費が見込まれますが、新中学校建設のトータルでの建設費の見込みについて伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。物価や労務単価が上昇し続けていることから、先ほどもお答えいたしましたとおり、建設経費については、現在の時点におきまして、明確なお答えができないところでございます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

身延中学校ではですね、校舎新築等で外構等を除いてですね、24億見込んでいたんですね。それが30億ぐらいになる。これは今の状況では大変難しいと思うんですよ、厳密にこれだけ出せということは。ただし、例えば校舎自体にしても、おそらく新校舎、身延中学校と比較して1.5倍ぐらい、人数からして、の規模になると思う。ということは、相当な金額が予定されています。町長が大変心配しているように、今後の町の財政状況から考えるとですね、この辺はやはり十分留意しながらですね、それから使えるものはね、どんどん取ってきて使ってほしい。経費削減を努めていただきたいというふうに思います。将来的な財政負担も考慮し、経費削減を図りつつ、より良い校舎建設に取り組んでいただきたいと思います。

(6)の質問になります。富士川中学校開校場所が、現増穂中学校地に決まった理由のひとつに、徒歩通学の可能エリアに在住する生徒が多いということが挙げられていました。生徒たちの通学については、開校検討委員会地域部会で検討を進めていることと思いますが、増穂地域在住の生徒たちの通学については、基本的には現状を踏襲していくことも考えられま

す。一方、鰯沢、中部五開地域在住の生徒たちの通学については、新たな通学方法の実施が必要です。鰯沢、中部五開地域の生徒の通学方途についてのお考えを伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。鰯沢北区、鰯沢中区、鰯沢南区の生徒の通学方法につきましては、生徒の安全や負担も考慮し、検討しているところであります。また、中部五開地区の生徒につきましては、現在と同様、スクールバスで通学することで検討を進めております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

私は毎朝、通学時の子ども見守り活動していますが、ちょうどその子たちに、該当する子どもたちに、新しい中学校になったらなんで行きたいっていうことを質問したんですね。返ってきた答えが、バスで行きたい、通学バスで行きたい、自転車通学をしたい。残念ながらですね、歩いて行きたいと答えた子どもは1人だけでした。そういった意味でですね、鰯沢、中部五開地域在住の生徒たち、場所的にどうなのかという検討も必要だと思うんですがね、北区の子どもたちにとって、歩いていけない距離ではないと私も思うんですが、新たな通学バスの運行も必要になると思いますが、通学バスの新たな運行に対する考えや計画を伺います。再質問です。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。中部五開地区の生徒につきましては、現状どおりとし、鰯沢北区、鰯沢中区、鰯沢南区の生徒の通学方法について、生徒の安全や負担も考慮し、検討することを基本としております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

検討するということは、まだ、明確な方向性を出していないということだと思うんですが、私はですね、中学校の通学については、これは小学校と違って、朝練とかありますよね。あるいは、放課後の部活練習、その部活の練習時間等も考慮する必要があると思うんですよ。朝の通学時、放課後の帰宅時、それぞれ2便の運行が必要になると思うんですが、その点について、現時点ではそういった点を配慮しているのかどうなのか、その点について伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。現在、スクールバスの運行については、登校時1

便、下校時2便となっております。統合後の運行については、朝2便の運行が可能かどうか、これから検討して参ります。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

私も鰺沢に在住をしていますが、鰺沢の子どもたち保護者にとっては、通学方法をどうするかというのは、大変大きな問題になっていて、いろいろと相談を受けたりしますので、ぜひですね、自転車通学の安全性も考慮してですね、子どもたちが選択可能なね、通学方法を考えていただきたいというふうに思います。今回は、人的条件整備についての質問を控えましたが、現在、両校には会計年度職員、町単独雇用の講師や支援員、非常勤の支援員が複数配置されています。学校統合により、会計年度職員等の削減、あるいは町単独雇用の講師の削減等ですね、学校費の削減を図ることができますが、きめ細やかな指導を図るためにも、適切な配置に心がけていただきたいと思います。統合1年時には、生徒たちの心身のケアに配慮するため、保健室に養護教諭ほか、複数配置も検討したら良いのではないかと考えています。環境整備をしっかりと進め、生徒たちが安心安全に生活し、意欲や夢を持って学習や活動に取り組む、富士川中学校をスタートするよう期待して、2番目の質問に移ります。2番目の質問になりますが、学校統合後の鰺沢小中両校の整備についての質問です。統合後の現鰺沢小中学校の整備も、重要な事業になることから質問いたします。(1)の質問です。富士川町過疎地域持続的発展計画では、鰺沢小学校校舎、屋内運動場は解体して、鰺沢中学校の校舎、体育館を鰺沢小施設として活用する計画が提示されていますが、この計画に変更はないかどうか伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。鰺沢小学校校舎につきましては、富士川町内で1番古い学校施設であり、築57年が経過しているため、老朽化が進んでおります。こうしたことから、閉校となる鰺沢中学校へ移転し活用していくことについては、今後、保護者の意見を聞く機会等を設け、意向を確認しながら検討していきたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

再質問をお願いします。鰺沢小学校校舎は1966年に建築され、築57年を経過しています。令和元年度に作成された富士川町学校施設長寿命化計画では、長寿命化改修時期の築50年を経過していることから、長寿命化改修を行わないで、概ね築60年で改築を検討するとされていました。鰺沢中学校校舎は1978年に建築され、築45年を経過することになります。長寿命化計画では、概ね築50年に大規模改造をし、築65年を目安で改築を検討するとされています。いままでの状況では、まさに大規模改修の時期にかかっている状況に

あると思うんですね。また、両校の敷地借地料として、小学校分が499万3000円、中学校分が142万9000円が毎年計上されています。この敷地の借地料については、議会で何回か話題になったことがあります。校舎の現状や学校管理経費の削減を考慮すると、統合後は、現鯉沢中学校を小学校校舎として活用していくことが妥当だと私は思います。一方で、小学生が現中学校施設を使うとすれば、やはりそれぞれの、それなりの環境整備が必要になります。そこで(2)の質問になります。小学校として活用することによる、現中学校施設の整備改修工事的必要性について伺います。まだ結論は出していないようですけども、中学校を小学校として活用するとしたら、やはり整備改修が私は必要だと思います。その点について伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。閉校となる鯉沢中学校を、鯉沢小学校として活用していくこととなった場合には、小学校と中学校で教室等の設備に違いがあること、児童と生徒で身体的に違いがあることなどから、小学生用の施設設備に改修する必要があると考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

私も、質問に先駆けて、鯉沢中学校の現状をもう1度よく見てきましたが、普通教室については、今授業の関係でパーティションで仕切られている教室もありましたが、大きな改修は必要ないというふうに思っています。ただですね、小学校の場合、1年生教室は、やはり1階が望ましいというふうに思います。しかし現状では、1階に普通教室がありません。そこで技術室がありますが、小学校の場合大きな技術室は必要ないと思うので、この技術室を改修して、1年生教室として活用できないかどうか、その点について伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまの質問にお答えいたします。先ほども答弁でお答えをさせていただきましたが、鯉沢中学校を活用することになった場合は、改修の内容について検討して参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

具体的な回答はありませんでしたが、ぜひその点を考えておいてください。再質問になりますが、現鯉沢中学校の、これも同じような答えになると思いますが、現鯉沢中学校の階段は段差が低くですね、普通の中学校の階段より低いです。小学生が上り下りするには問題ありません。一方、トイレや手洗い場は高く、低学年児童が使うのに使い勝手が悪く、改

修工事が必要ですが、トイレ手洗い場の改修についての考えがあったら伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。先ほども答弁でお答えしておりますが、鰯沢中学校を小学校で使うかどうかというところも、今後、検討して参るところでございます。そのため、今後、鰯沢中学校を活用するという事となった場合は、そういったトイレの点も併せまして、改修の内容について検討して参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

再質問ですが、やはり保護者や子どもたちに状況を説明するってことは、とても大切なことだと思うんですよ。鰯沢中学を使った方がいいという考えがあるのであれば、やっぱりそれなりの条件整備や、こういう状況なんですよということを提起しながらね、丁寧に説明していくことが必要だと思います。そういう点で再質問させていただいていますが、再質問最後になりますが、鰯沢小学校も小規模校化がどんどん進んでいます。全校児童が集う行事、例えばですね、入学式、卒業式等、あるいは集会を行うにしても、体育館でですね、多目的ホールを、体育館ではなく多目的ホールを作ったらいい。あるいはどこかを改修、教室を改修して多目的ホールを作ったら私はいいと思うんですよね。体育館、もしまだ体育館問題に決着がついてないんですが、鰯沢中の体育館を当面の間、町民体育館としても併用していくことであれば、ますます体育館の使いようのことも考えれば、多目的ホールを設置することが必要ではないかなというふうに私は思っています。富士豊茂小学校の新築のときにもですね、床暖で音響設備の整った多目的ホールの建設をお願いをして、実際に多目的ホールの設置をした経過もあります。そういったことを踏まえながら、多目的ホールの設置について、もし検討ができるかどうかについて伺います。

○議長（堀内春美さん）

教育総務課長 小林恵さん。

○教育総務課長（小林恵さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。これまでもお答えしておりますが、鰯沢中学校を活用するという事になった場合は、議員の今おっしゃる多目的ホール等も含めまして、全体的な部分について、設置の可否も含めながら検討して参りたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

望月眞君。

○7番議員（望月眞君）

検討中だということですが、やはり私はですね、町の構想やビジョンをしっかりと明示してですね、そして、そのための条件整備はこうなんですよ、こうしていきたいんですよ、ということを提示しながらですね、理解を得ていくことが大事だと思うのでですね、ぜひその点

も配慮しながらですね、これからいろんな声を聞きながらということをお伺いしましたけれども、やはり町の構想、ビジョンをしっかりと提示する中で、意見を求めることが大切だというふうに思います。いずれにしましても、統合後の鰯沢小学校の学校環境整備にも、十分心がけていただきたいと思います。以上で、私の一般質問を終わります。

○議長（堀内春美さん）

以上で通告1番 7番 望月眞君の一般質問を終わります。
